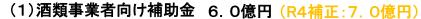
国税庁 酒類業振興関係予算

令和5年度当初予算:14.6億円 (令和4年度補正予算:13.2億円)

1. 国内向け酒類業振興 (1)~(3):7. 3億円



① 国内市場が縮小傾向にある中、商品の差別化や販売手法の多様化 当初 により市場開拓に取り組む事業者を支援 (新市場開拓支援事業費補助金)

② インバウンド需要開拓のため、酒蔵自体の観光化や地域での酒蔵 ツーリズムプランの企画を支援(日本産酒類海外展開支援事業費補助金)





≪酒蔵ツーリズム≫

(2)日本産酒類ブランド化推進 1.1億円

地理的表示(GI)酒類のブランド価値向上のため、国外の先進事例 に触れるセミナー等を開催。

(3)中小企業向けの経営活性化・革新研修 0. 1億円 当初

(事業承継セミナーを含む。)

2. 輸出促進による酒類業振興(1)(2):7.3億円

(1)国内におけるプロモーション 1.6億円

- ① 国際的イベント等(広島サミット等)におけるPR
- ② 日本酒等の知識を普及する国際的な酒類教育機関(WSET)の日本酒 プログラムの講師を招聘
- ③ ユネスコ無形文化遺産登録に向けた機運醸成のための各種PR

(2) 海外におけるプロモーション・販路拡大 5.8億円(R4補正:6,2億円)

- ① 国税庁が海外で商談会を企画し、日本の酒類事業者と海外バイ ヤーをマッチング 当初
- ② 海外向け商品の開発や海外における販売促進活動を補助金により 支援(日本産酒類海外展開支援事業費補助金【再掲】)





≪ジャパンハウスの活用≫



- ③ ジャパンハウスの活用や海外における日系料理教室等の商流を 活用したPR
- ④ 海外の日本食レストランにおいて、日本産酒類の特徴(伝統的 酒造り文化の魅力を含む)を説明するセミナー等の開催
- ⑤ 現地スーパーマーケットにおいて試飲を通じたPR

興事業に対す。補助金【6. 2億円】 (海外サポートデスク、イベント等を通じた消費者に対する情報発信等) 費交付金【9. 7億円】 【R4補正:1. 0億円】 (ブランド価値向上等に資する研究、国内外への情報発信強化等